

## 1. 研究テーマ

野生動物における放射性核種蓄積機構の解明と個体数管理に関する研究

## 2. 所属

国立環境研究所 福島地域協働研究拠点

## 3. 募集人数

テニュアトラック型任期付研究員 1名

## 4. 研究内容

福島第一原子力発電所事故により福島県下では、野生鳥獣などにおいて放射性物質濃度の基準値が超過しており、これらの摂取・出荷制限が続いている。また、福島県では野生鳥獣による農業被害額が震災前の2倍に達し、その主な原因となるイノシシの捕獲を進めているにもかかわらずいまだに農業被害額の減少は見られない。

このような背景のもとで、国立環境研究所福島地域協働研究拠点においては、災害環境研究の一環として野生動植物の放射性セシウムモニタリング、摂取・出荷規制解除の将来予測、放射性セシウム濃度の低減手法や有害鳥獣の管理手法の研究開発を進めている。

本公募では、福島県内における中大型野生動物、特にイノシシやツキノワグマなど人の生活と密接に関係する生物種を対象に、環境省や福島県などの自治体と積極的に連携しこれらの摂取・出荷制限解除に資する取組や、個体数管理計画の立案に資する取組を研究として実施する人材を募集する。また、採用者には、中長期的には野生動物の広域管理計画策定を研究面から強い意欲をもって推進し、国立環境研究所が実施する災害環境研究の中核を担うことが期待される。

具体的には、以下のテーマのいずれかあるいは複数を主体的に進められる人材を想定している。

- 1) 中大型野生動物におけるエサの摂取や採餌行動による土壌等の非意図的な摂取による放射性セシウムの可食部への移行メカニズムに関する研究
- 2) 福島県及びその近隣県における中大型野生動物の個体数予測及び遺伝的手法を用いた地域個体群間の分布範囲の推定とその交流に関する研究
- 3) 人口減少社会における中大型野生動物管理手法の構築に関する研究

## 5. 応募資格

- (1) 採用時点で、博士の学位を有すること（採用時に学位取得見込を含む）。
- (2) 専門分野として、研究内容に関連する環境科学、生物科学、農学、工学等の専門性を有し、放射線生態学、生物地理学、生態系管理学のいずれかに関連する研究業績を有すること。
- (3) 「4. 研究内容」に示す研究に関連するテーマについて研究実績があり、独立して主体的に推進する能力を有すること。
- (4) 研究及び業務活動に支障がない水準のコミュニケーションと研究成果の発信に関わる日本語能力及び英語能力を有すること。

## 6. 提出書類 ※(1) 以外は様式自由

- (1) 履歴書（写真貼付、[所定の様式](#)を使用） 1部
  - (2) 研究業績目録（原著論文、著書、解説、口頭発表別、競争的研究資金、学会・社会活動） 1部
  - (3) 主要論文別刷り又はコピー（3編以内） 各1部
  - (4) これまでの研究概要（A4判1～3枚程度） 1部
  - (5) 研究に対する抱負（上記の「4.研究内容」末尾に挙げた研究テーマ1）～3）を参考としつつ、自身が希望する研究テーマを具体的に提案すること。A4判1～2枚程度） 1部
  - (6) 所見を求めうる方の推薦状 2通（2名の方から各1通とし、国立環境研究所職員以外からの推薦状を1通以上）
- ※提出書類の返却不可（選考後不採用となった場合は責任をもって処分します。）

## 7. 応募締切

2022年12月2日（金）必着

## 8. 選考方法

書類選考及び面接審査による。書類選考の後、面接審査を行う者には連絡する。面接は2022年12月下旬につくば本部で実施予定。

※面接審査においては Teams 等による WEB 面接とする場合がある。

## 9. 応募方法

電子送付による。

## ○「6. 提出書類(1)～(5)」について

電子送付の方法については、11月21日（月）までに必ず下記15.(2)の担当

者あてにメールでお問い合わせください。

その際、メールの件名を「R05-K-03 福島地域協働研究拠点任期付研究員応募」と記載ください。メールをお送りいただいた方に電子送付の方法についてご案内します。

○「6. 提出書類(6)」について

推薦者から下記 15.(2)の担当者あてに直接メールで送付ください。

なお、郵送による応募を希望する場合は、封筒に朱書きで「R0-K-03 福島地域協働研究拠点任期付研究員応募」と記載し、下記 15.(2)の担当者あてに送付ください。

10. 雇用予定時期

2023年4月1日以降、出来るだけ早い時期の着任が望ましい。

11. 雇用期間

2023年4月1日着任の場合は、任期は最長で2028年3月末まで。

12. 勤務地

福島地域協働研究拠点（福島県田村郡三春町）

ただし、つくば本部（茨城県つくば市）や琵琶湖分室（滋賀県大津市）への転居を伴う異動が有り得る。

13. 処遇等

テニュアトラック型任期付研究員として採用する。雇用期間中の業績等が優秀であれば、雇用期間終了とともにパーマネント研究員（任期の定めのない研究員）に採用する予定。

（試用期間）6箇月

（勤務時間）裁量労働制

（その他就業関係）「任期付職員就業規則」、「職員人事規程」、「職員給与規程」及びその他関連規程によりご確認ください。

（参考）国立環境研究所基本規程 <http://www.nies.go.jp/kihon/kitei/index.html>

また、国立環境研究所の定める条件を満たせば、任期中に6か月以上1年以内の海外派遣研修制度に応募することも可能。

#### 14. その他

本公募は科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第 15 条の 2 の対象業務に該当します。

※科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律と労働契約法第 18 条の通算契約期間に関しては、以下を参照してください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000488206.pdf>

#### 15. 問い合わせ先及び書類提出先

(1) 選考および研究内容に関する問い合わせ先

国立研究開発法人国立環境研究所

福島地域協働研究拠点 研究グループ長 林 誠二

Tel : 0247-61-6561 (代表)

E-mail : shayashi (半角で@nies.go.jp をつけてください。)

(2) 処遇等に関する問い合わせ先及び書類提出先

〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2

国立研究開発法人国立環境研究所

総務部人事課 川尻 麻美

Tel : 029-850-2316

E-mail : saiyo (半角で@nies.go.jp をつけてください。)

#### 16. 公募番号

R05-K-03